



＝令和6年度竜王小学校だより＝

竜の子

令和6年11月29日

No. 7

校長 松井 渉

雨の日の水やり

2学期も、残すところ、あと3週間となりました。この間、保護者の皆様におかれましては、日頃の健康管理とともに、運動会前のテント設営・運動会当日の片付け、学校開放日、本日までの個別懇談等、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

学校開放日では、全学級、道徳の授業をご覧いただきました。ご存のように、道徳の授業は、それまでの道徳の授業から「考え、議論する道徳」の授業へと転換が図られました。しかし、子どもたちに理解させたい道徳的価値が大きく変わるものではありません。いつの時代も、保護者の方々の大きな願いの1つは、子どもたちに思いやりのあるやさしい子に育てほしいというものだと思います。それは我々教職員も同じです。

その思いやりにまつわる、ちょっといい話を紹介させていただきたいと思います。

ある方が外国を旅行していたときの話です。ある日、小さな高原の村に歩いて行きました。その日は雨がしとしとと降っていたそうです。

小さな村でしたが、街はよく整備されてとてもきれいでした。その方はそのきれいな街の風景を楽しみながら歩いていました。

雨が降っているのに外を歩いている人は少なかったそうですが、ふと見ると、遠くの道ばたに一人のおじいさんが立って何かをしています。だんだんと近づいていくと、おじいさんが何をしているのかがわかりました。おじいさんは、家の前に作られた花壇の花に水をやっていたのです。

雨が降っているのに花壇の花に水をやっている。

その方は、ちょっとおかしくなりました。そこで、おじいさんのそばを通ったとき、おじいさんに声をかけたそうです。

「おじいさん、雨が降っていますよ」

「ああ、降っているね」

「雨が降っているのに花に水をやっても意味がないんじゃないですか？」

すると、おじいさんは、花に水をやる手を止めずに、その方にこう言ったのです。

「わしは、花に心をやっているんだよ。雨が降っているかいないかは問題ではないのだ」

その方は、おじいさんの言葉を聞いて、はっと思いました、そして自分がおじいさんに向けた言葉が恥ずかしくなり、おじいさんにお礼を言って、その場を立ち去ったそうです。

確かに、雨の水やりは少しおかしいかもしれません。しかし、毎日、花に水をあげているおじいさんのやさしい気持ちは素敵だと思います。こんな素敵な思いやりの心が、どの子の心の中にも育ってくれたら素晴らしいと思います。そうなることを願いながら、これからも教職員一丸となって、子どもために努力してまいります。

保護者の皆様には、これまでと変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いします。



運動会当日、子どもたちを待っている間、片付けに多くの方にご協力いただき、ありがとうございました。各校の校長先生方が、「本校の保護者は協力的だ」と話します。私にとって、本校の保護者の方々も自慢の皆様です。

令和6年度 学校保健委員会

10月31日（木）、PTA 本会役員・保体環境部員、学校医にご出席いただき、令和6年度学校保健委員会を開催しました。学校保健委員会とは、子どもの“こころ”と“からだ”の健康について、学校と家庭、地域の三者が、意見を交換し合い考え、学校保健の推進的役割をもつものです。

今回は、定期健康診断・体力テストの結果から、運動不足解消のためには、肥満解消のための食事とは、骨を丈夫にするためには等について話し合われました。また、学校から児童の保健委員会・食育の取組を報告しました。学校医からは「大人は、子どものためと言いながら電子機器を使っている。人類の長い歴史の中で培われてきた人間の特性が急激に崩れていく。現在の様々な課題に対しては、個人（家庭）が引き戻すしかない」とご助言がありました。会は、最後に「周りの様子を知るよい機会となった」というご挨拶で締めくくられました。

令和6年度 第2回学校運営協議会

11月7日（木）、第2回竜王小学校学校運営協議会が開催されました。当日は、5名の委員の皆様にご出席いただき、運動会と学校の危機管理について協議していただきました。

運動会については、「見ている方も燃える、子どもたちが輝いている、子どもたちの助け合いが見える運動会だった」等の感想とともに、「音量が少し小さかったような気がするが、どのような理由か」等の質問も出されました。

学校の危機管理については、火災を想定した避難訓練をご覧いただきました。「無言で避難していた」「1年生の聞く姿勢がよかった」等の感想が出されました。

竜王小コミュニティ・スクールは、地域と学校が連携することで、子どもたちの学びをさらに豊かなものにしていくと考えています。学校運営協議会とPTAと学校が、子どもたちの健やかな成長という同じ目標に向かって一緒に活動していくパートナーでありたいと思っています。

心をつなぐ第1歩



10月31日（木）、やはいぬくん、保坂甲斐市長、内藤教育長が来校し、児童会役員と、あいさつ運動を行いました。11月18日（月）、小中連携の一環として、竜王中学校の生徒さんが来校し、児童会役員と、あいさつ運動を行いました。校舎内には「広げよう 輝く笑顔で あいさつの輪！」「あいさつは 心をつなぐ まほうの言葉！」という竜王小中連携のあいさつ運動の旗があります。私は、毎朝、子どもたちの「おはようございます」のあいさつから元気をもらいます。



下の詩は、小泉吉宏さんの「一秒の言葉」という詩です。

①から⑤の（ ）に入る言葉は何でしょうか。どれもよく使う言葉が入ります。

一秒の言葉

（はじめまして）	この一秒ほどの短い言葉に	一生のときめきを感じることがある
（ ① ）	この一秒ほどの短い言葉に	人の優しさを知ることができる
（ ② ）	この一秒ほどの短い言葉で	勇気がよみがえってくることがある
（ ③ ）	この一秒ほどの短い言葉で	しあわせにあふれることがある
（ ④ ）	この一秒ほどの短い言葉に	人の弱さを見ることがある
（ ⑤ ）	この一秒ほどの短い言葉が	一生の別れになるときがある
一秒に喜び 一秒に泣く 一生懸命 一秒		

答えは次の学校だよりでお知らせします。よかったら、考えてみてください。